

2026年3月期 第1四半期 決算説明会

2025年8月7日（木）

目次

- 1 2026年3月期 第1四半期 実績
- 2 2026年3月期（通期）業績予想
- 3 事業別の概況
- 4 トピックス

1 2026年3月期 第1四半期（FY25Q1）実績

A horizontal decorative bar featuring a repeating pattern of blue squares and triangles in various shades of blue.

受注高は5月時点予想より大きく上振れ、Q1営業利益確保は2年ぶり、純利益を確保

		進捗率	前年同期比
売上高	400 億円	20 %	+ 62 億円 + 19 %
営業利益	6 億円	5 %	+ 9 億円 黒字転換
親会社株主に 帰属する純利益	5 億円	6 %	+ 6 億円 黒字転換
受注高	680 億円	32 %	+ 154 億円 + 29 %

変動要因

前年同期比

- 売上高は大幅増収。国内建築、国内土木が大きく貢献
- 営業利益は黒字転換。国内建築が大きく貢献
- 純利益は主に営業利益の増益により+6億円の増益
- 受注高は国内土木が大きく貢献し大幅に増加

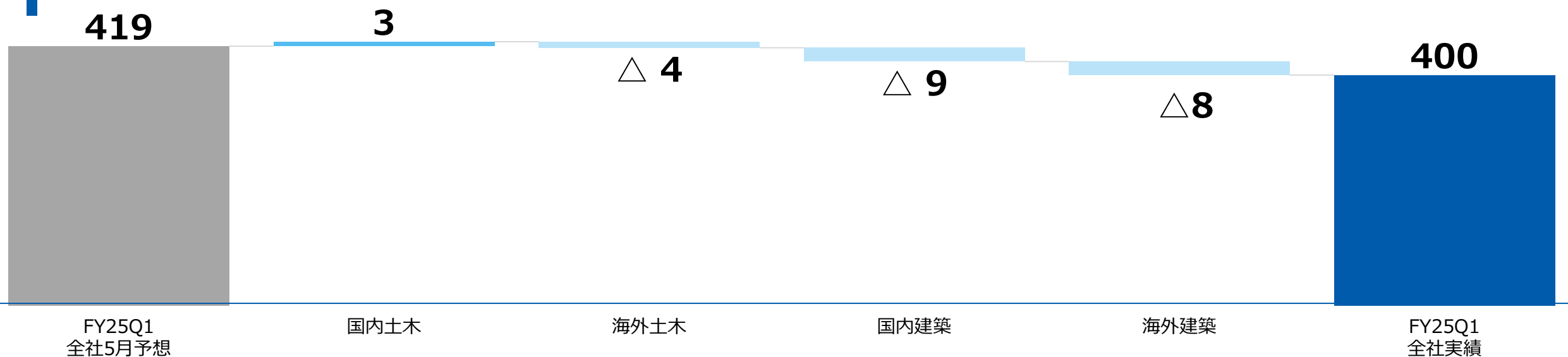
5月時点予想比

- 売上高は若干の未達。国内土木は達成するも 海外土木、国内建築、海外建築は工事進捗の遅れの影響で未達
- 営業利益は達成。国内建築が貢献、洋上風力建設は費用発生の期ずれ
- 上場株式と固定資産の売却益が純利益に貢献
- 受注高は国内建築と国内土木が貢献し、大幅に上振れ

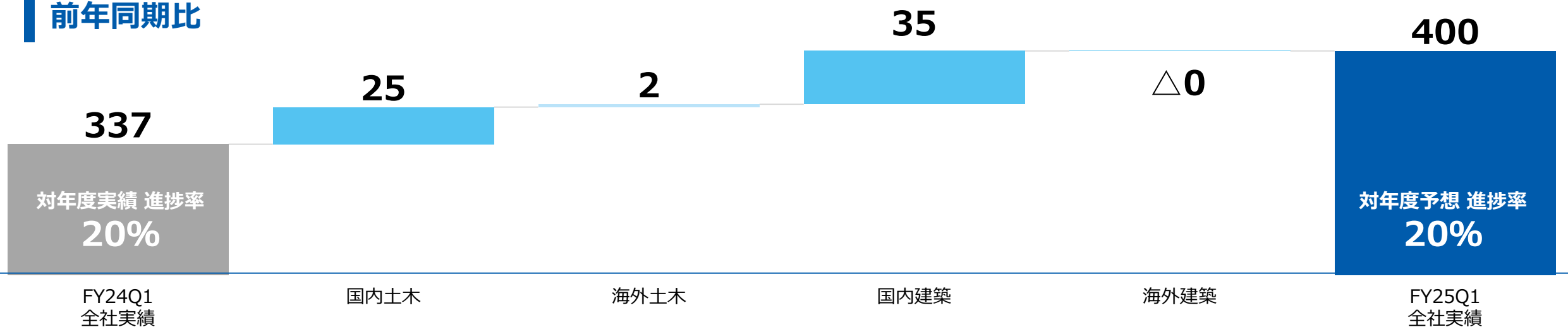
FY25Q1売上高 - セグメント別の変動

(単位：億円)

5月時点予想比



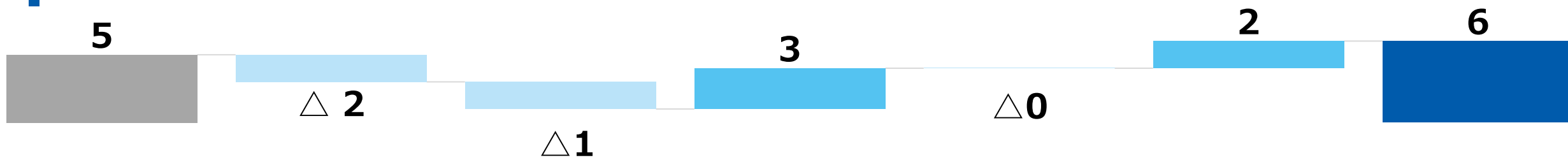
前年同期比



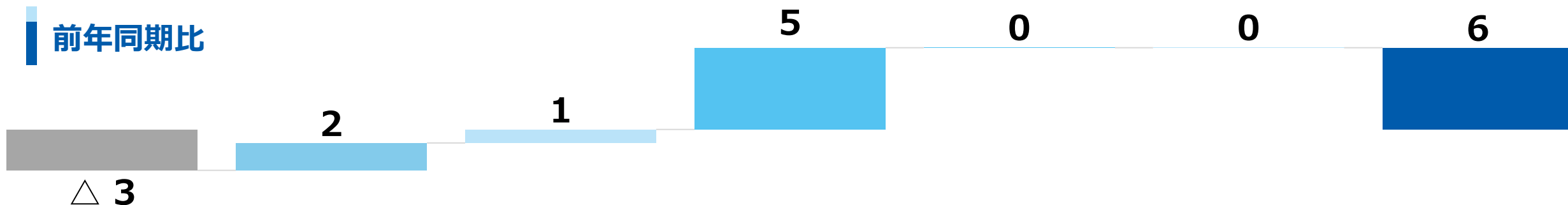
FY25Q1営業利益 - セグメント別の変動

(単位：億円)

5月時点予想比



前年同期比



FY24Q1
全社実績

国内土木

海外土木

国内建築

海外建築

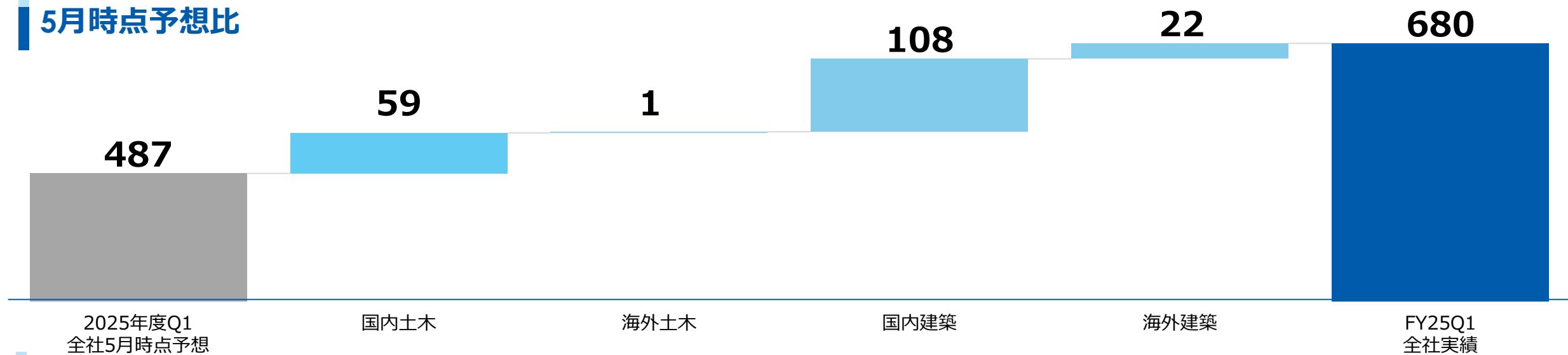
洋上風力建設

FY25Q1
全社実績

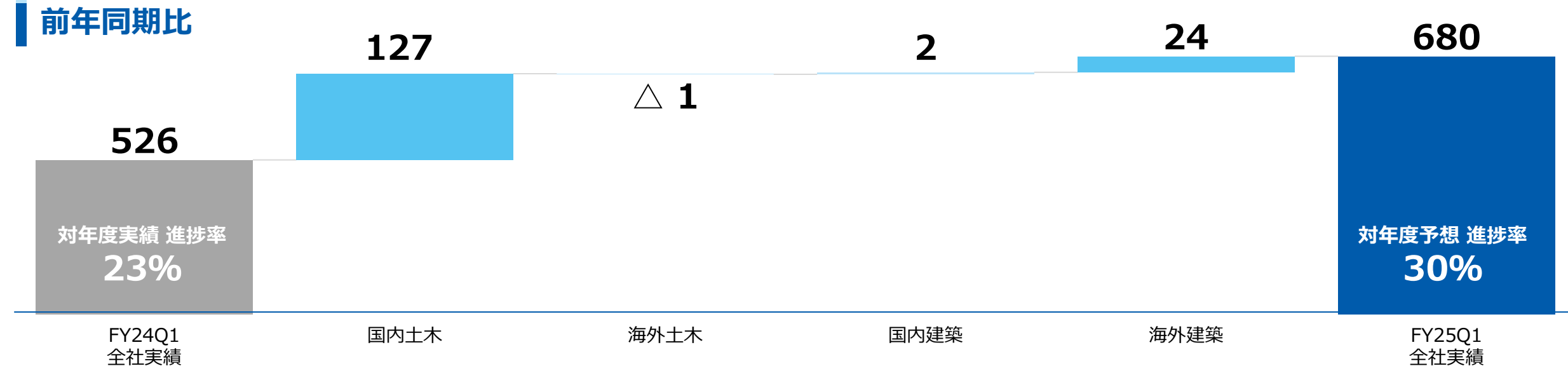
FY25Q1受注高 - セグメント別の変動

(単位：億円)

5月時点予想比



前年同期比

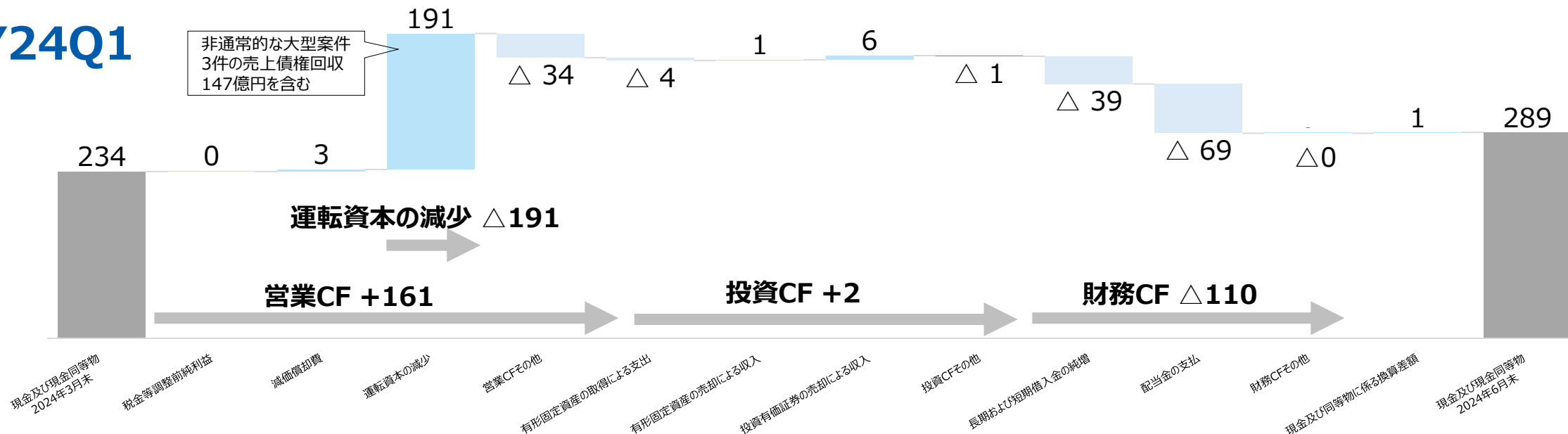


(単位：億円)

FY25Q1



FY24Q1

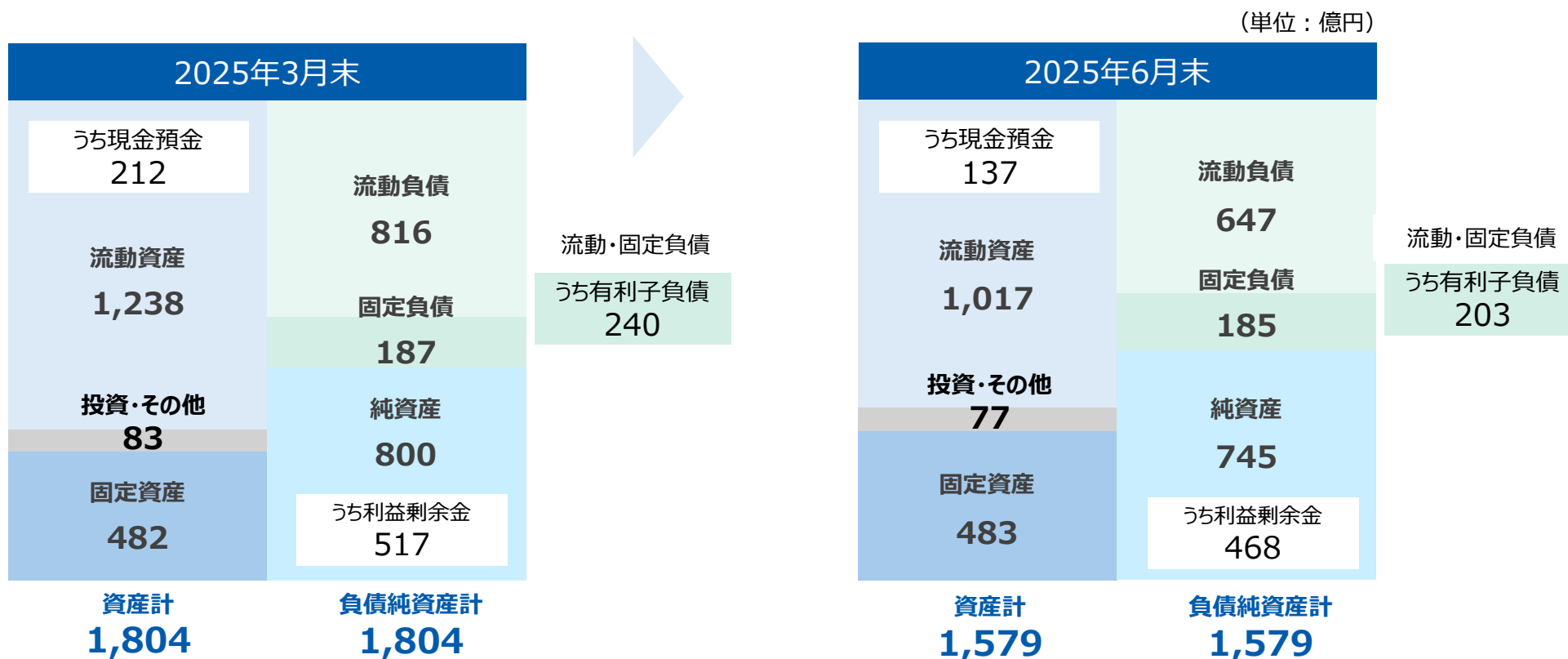


¹ 運転資本の増減は、売上債権、仕入債務、未成工事支出金、JV工事未収入金、未成工事受入金、貸倒引当金、工事損失引当金、不動産事業支出金、販売用不動産、立替金、預り金の増減により生じます。詳細はキャッシュフロー計算書を参照下さい。

貸借対照表

- 流動資産は工事未収入金が176億円減少し、220億円減少
- 有利子負債（主に短期借入金）は36億円減少
- 現金預金は75億円減少
- 純資産は主に配当金支払のため54億円減少

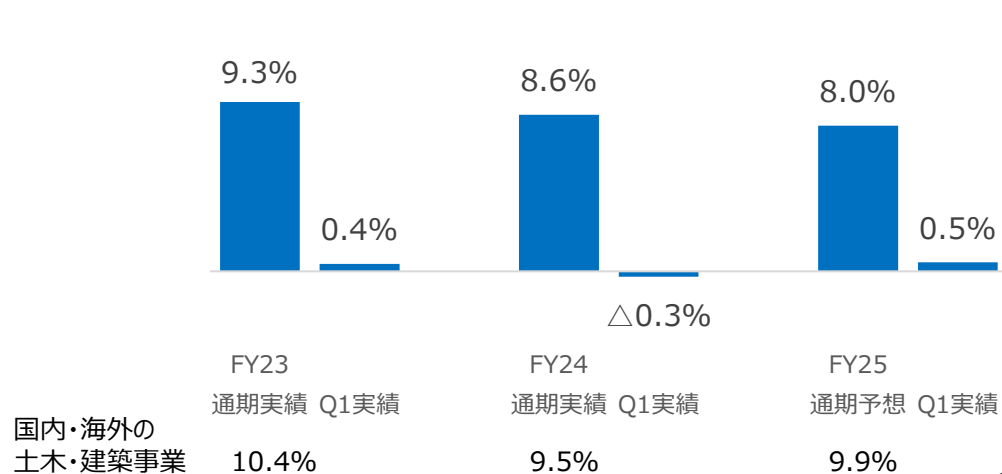
ROICを重視する
経営の効果の端緒



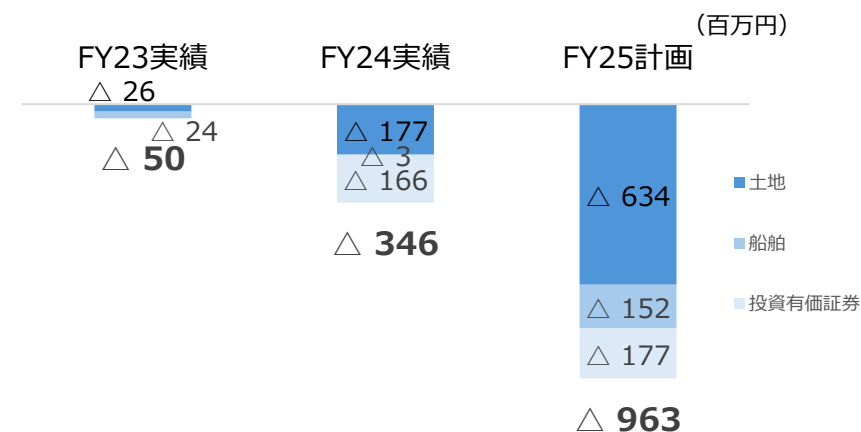
ROIC向上施策の進捗

ROICツリー項目		当社施策	FY25Q1での実行
営業利益の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・工事受注ルートへの堅持 ・工事毎の営業利益の可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ・本社や支店の間接経費を加味した工事案件毎の営業利益見込の可視化を実現
投下資本の適正規模化	固定資産の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休・非効率資産の売却 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の売却（1件 簿価0.1億円）
	投資有価証券の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・純投資目的株式の売却 	<ul style="list-style-type: none"> ・上場株式の売却（5社 簿価1.4億円）
	運転資本の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・支払条件の良化 ・短期借入の縮減 	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛債権の回収が進み運転資本が減少（△41億円） ・短期借入金を返済（△34億円）

■ ROICの推移



■ 資産売却による投下資本の圧縮（簿価の減少）



2 2026年3月期（通期）業績予想

A horizontal decorative bar featuring a repeating pattern of blue squares and triangles in various shades of blue.

受注高を上方修正

5月時点予想比

売上高	2,000 億円	変更なし
営業利益	120 億円	変更なし
親会社株主に 帰属する純利益	85 億円	変更なし
1株あたり利益	90.50 円	変更なし
年間配当金 (予定)	2025年8月8日付 適時開示「2026年3月期の中間配当及び期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」の通り、当年度の配当は行いません。＜8月8日修正＞	
受注高	2,246 億円	+ 130 億円 + 6 %

変動要因

5月時点予想比

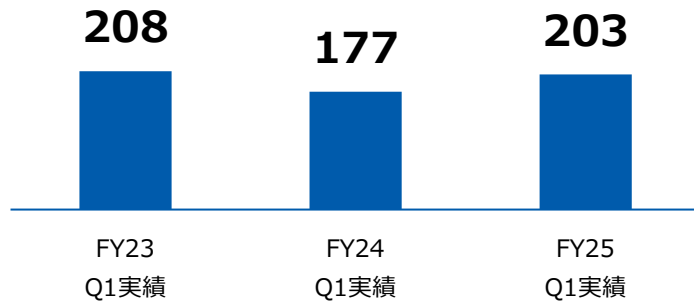
- 2026年3月期予想値は、受注高を130億円上方修正。国内建築で受注高が増加

＜8月8日修正＞

3

事業別の概況

完成工事高



FY25 Q1実績 進捗率：20% / 予想比：+3億円

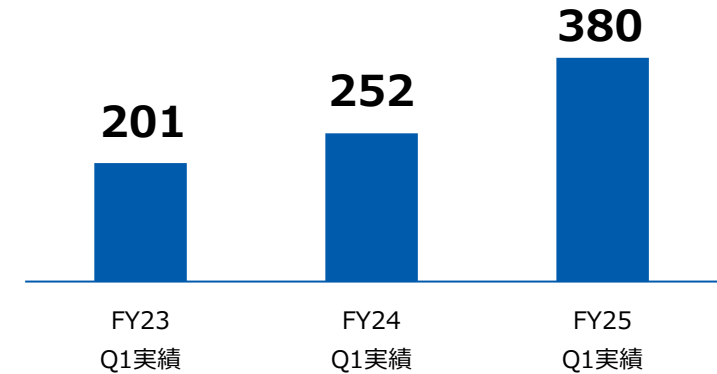
営業利益



FY25 Q1実績 進捗率：- % / 予想比：△2億円

受注高

(単位：億円)



FY25 Q1実績 進捗率：35% / 予想比：+59億円

● 前年同期比

- 完成工事高は手持ち工事の進捗により増収
- 営業損失は増収により改善
- 受注高は順調に拡大

● 5月時点予想比

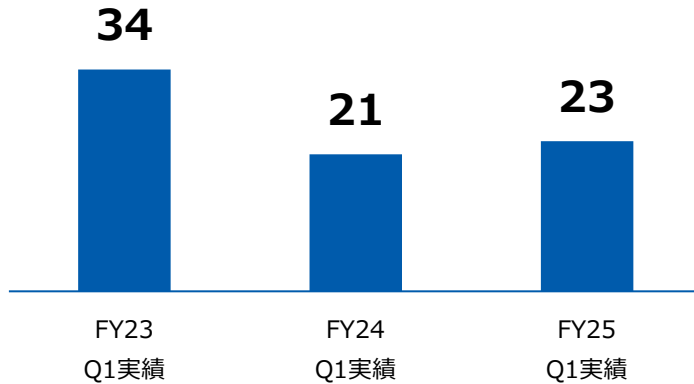
- 完成工事高はほぼ計画どおり
- 営業利益は工事進行期ずれにより若干の未達（新規受注、設計変更）
- 受注高は民間案件の新規受注により上振れ



令和5年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁(-14m) 本体工事(その2)

(単位：億円)

完成工事高

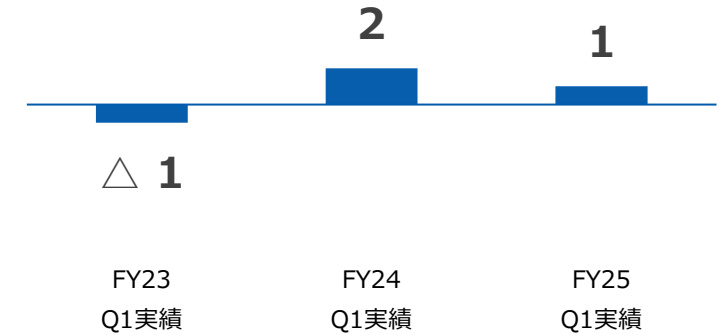


FY25 Q1実績 進捗率：21% / 予想比：△4億円

営業利益



FY25 Q1実績 進捗率：1% / 予想比：△1億円

受注高¹

FY25 Q1実績 進捗率：1% / 予想比：+1億円

● 前年同期比

- 完成工事高は増収
- 営業損失は増収により改善し、ほぼブレイクイーブン
- 受注高は低水準。獲得の季節性平準化に向けて、工種拡大に注力（民間、無償ODA）

● 5月時点予想比

- 完成工事高、営業利益は手持ち工事の進行期ずれのため未達



太平洋セメントフィリピンズ新橋建設工事

¹受注高（工事収益総額）は、締結済の契約金額と、顧客との間で実質的に合意した金額として見積った未締結の契約金額の合計により算定します。
FY23Q1において、フィリピンペソ安および未締結の金額契約の変更を受けて工事収益総額が減少となった工事があったため、受注高はマイナスとなりました。

(単位：億円)

完成工事高



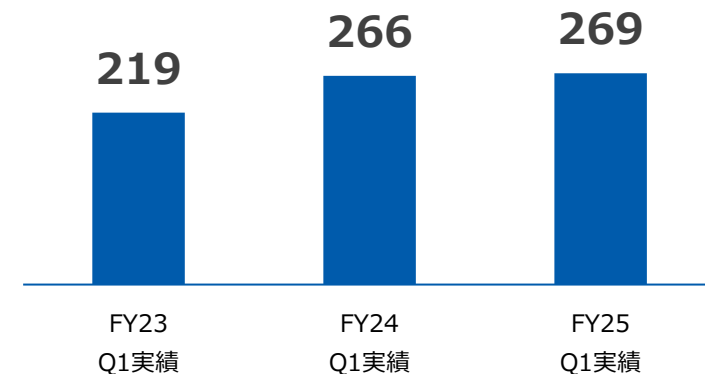
FY25 Q1実績 進捗率：22% / 予想比：△9億円

営業利益



FY25 Q1実績 進捗率：24% / 予想比：+3億円

受注高



FY25 Q1実績 進捗率：35% / 予想比：+108億円

● 前年同期比

- 完成工事高は大幅増収
- 営業利益は増益、増収の好影響に加えて変更工事獲得の押し上げもあった

● 5月時点予想比

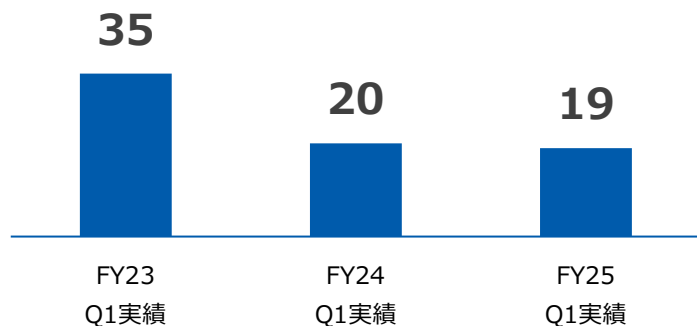
- 完成工事高は未達。一部工事の着工時期変更のため
- 営業利益は、追加変更工事での利益の獲得、大型工事の完了により上振れ
- 受注高は、Q2予測の案件が前倒して獲得できたことや新規案件の獲得により大きく上振れ



アイ・テック北上工場

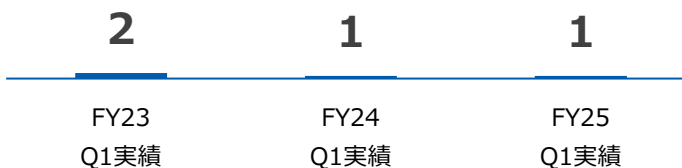
(単位：億円)

完成工事高



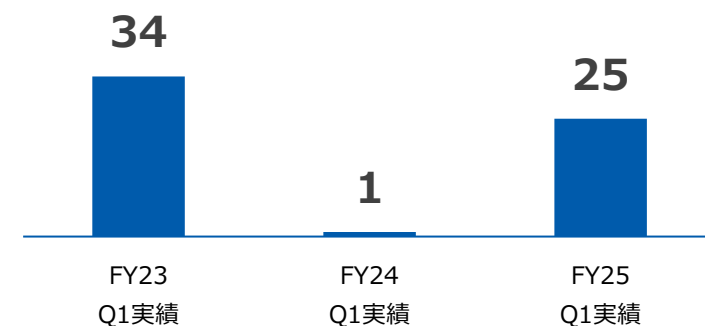
FY25 Q1実績 進捗率：14% / 予想比：△8億円

営業利益



FY25 Q1実績 進捗率：15% / 予想比：△0億円

受注高



FY25 Q1実績 進捗率：24% / 予想比：+22億円

● 前年同期比

- 完成工事高、営業利益ともほぼ横ばい。
- 受注高は、フィリピン現地企業および海外企業子会社からの案件獲得により増加

● 5月時点予想比

- 完成工事高は工事の着工時期や進行状況の変更のため、未達
- 営業利益は若干の未達
- 受注高は、Q2予測の案件を前倒しで獲得したことにより増加



タミヤフィリピン工場

¹ 海外建築は全て、連結子会社CCT CONSTRUCTORS CORPORATION が運営しています。その決算期は連結決算日と異なっており、1～3月を連結の第1四半期に計上します。

連結業績サマリー（FY25Q1）

（単位：表記の無いものは億円）

	FY23 Q1実績	FY23実績 に対する 進捗率	FY24 Q1実績	FY24実績 に対する 進捗率	YoY	YoY %	FY25 Q1実績	通期予想 に対する 進捗率	FY25 通期予想
売上高	426	23%	337	20%	+ 62	+19%	400	20%	2,000
完成工事高	425	23%	335	20%	+ 62	+19%	398	20%	1,993
国内土木	208	22%	177	19%	+ 25	+14%	203	20%	1,040
海外土木	34	26%	21	20%	+ 2	+11%	23	21%	113
国内建築	146	23%	116	19%	+ 35	+31%	151	22%	700
海外建築	35	25%	20	28%	△ 0	△4%	19	14%	140
洋上風力建設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	22%	1	24%	+ 0	+0%	1	26%	7
営業利益	4	4%	△ 3	-	+ 9	-	6	5%	120
国内土木	2	3%	△ 5	-	+ 2	-	△ 3	-	82
海外土木	△ 1	-	△ 1	-	+ 1	-	△ 0	-	6
国内建築	3	12%	5	11%	+ 5	+115%	10	24%	44
海外建築	2	34%	1	20%	+ 0	+16%	1	15%	8
洋上風力建設	△ 2	-	△ 2	-	+ 0	-	△ 2	-	△ 23
その他	0	6%	0	23%	△ 0	△8%	0	24%	2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 1	-	△ 0	-	+ 6	-	5	6%	85
受注高	454	27%	526	+23%	+ 154	+29%	680	30%	2,246
国内土木	201	21%	252	+23%	+ 127	+51%	380	35%	1,100
海外土木	△ 1	-	2	+1%	△ 1	-	1	1%	130
国内建築	219	35%	266	+31%	+ 2	+1%	269	30%	900
海外建築	34	41%	1	+1%	+ 24	+1579%	25	24%	110
洋上風力建設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	21%	2	+24%	+ 0	+28%	2	44%	6

※ 1 億円未満を切り捨てているため合計値は一致しません

4 トピックス



防衛力整備計画

事業規模：

- ・2023年～2027年度の施設強靱化予算 約4兆円
- うち、2025年度以降の予算 約3兆円

当社における重要性：

2025年度の国内土木受注高予想における構成比率 18%

当社受注事例：



石垣島(2)駐屯地新設土木工事（その2）

国土強靱化基本計画

事業規模：

- ・5か年緊急対策（2021～2025年度） 15.6兆円
- うち、2025年度の国土交通省港湾局予算 2,456億円
- ・第1次国土強靱化実施中期計画（2026～2030年度） 20兆円強
- うち、国土交通省港湾局予算 未定

当社における重要性：

2025年度の国内土木受注高予想における構成比率¹ 15%

当社受注事例：



令和5年度 下田港防波堤（西）E区築造工事

¹ 国土交通省港湾局予算に占める国土強靱化関係予算の比率を、当社の国土交通省港湾局からの受注高に当てはめた推定値

信用格付の向上

- 株式会社格付投資情報センター（R & I）が、5月28日に当社の発行体格付を変更

＜格付対象及び格付＞

	変更後	変更前
発行体格付	B B B +	B B B
格付の方向性	安定的	安定的

- 信用力向上を背景に、財務安定性の強化を図る
 - ・普通社債など直接金融を活用し、資金調達手段を多様化
 - ・市場の変化に応じて、柔軟な資金調達戦略を推進

トピックス#2 2025年4月～6月に受注した主な工事

	発注者	工事名
土木	J F E スチール株式会社	倉敷電気炉土建工事 6 工区
	東京都	お台場海浜公園噴水施設（7）整備工事
	横浜港埠頭株式会社	（本牧）D-5号ターミナルゲートエリア整備工事
	国土交通省中部地方整備局	令和7年度 名古屋港新土砂処分場埋立護岸基礎工事
	国土交通省東北地方整備局	酒田港外港地区岸壁(-12m)地盤改良工事
建築	東京建物株式会社	T-LOGI船橋南海神新築工事計画
	三菱地所レジデンス株式会社	船橋市宮本1丁目計画新築工事
	日野出株式会社	（仮称）日野出株式会社新筑紫野センター第Ⅱ期新築工事
	一般社団法人 日本貨物検数協会	（仮称）築地一丁目計画新築工事
	センコーグループホールディングス株式会社	（仮称）センコーグループ新富士倉庫新築工事

ヒストリカルデータ FY23~FY25

FY23からFY25にかけての四半期（累計/ 3ヶ月）および年度の実績データを、当社IRウェブサイトに掲載

- 貸借対照表
- 損益計算書
- キャッシュフロー計算書
- セグメント情報（新／旧）
- 工種別 受注高、売上高、繰越高（東洋建設(株) 個別）
- 施主別 受注高、売上高、繰越高（東洋建設(株) 個別）
- 指標

https://www.toyo-const.co.jp/doc/ir/irnews/20250807_FY25Q1_historicaldata.xlsx



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。